

## 出演者プロフィール

### 紅葉坂プロジェクト Vol.1

**かさね** (河村絢音 / 佐原 洸)  
*kasane(Ayane Kawamura / Ko Sahara)*

エレクトロニクスを交え、弦楽器の新たな可能性を追求することを目的に2022年に始動。「新しい視点」は旗揚げ公演(5月22日、汐留ホール)に続くプロジェクト第二弾。  
**河村絢音**: パリ国立高等音楽院、東京藝術大学大学院博士後期課程にてヴァイオリンとライブエレクトロニクス作品を研究。欧州の現代音楽フェスティバルなどで活躍。  
**佐原 洸**: パリ国立高等音楽院、IRCAMで作曲とエレクトロニクスを専攻。二つの領域において日本、欧州で活動を展開。

### ささきしおり *Shiori Sasaki*

アジア音楽祭台湾大会ACL青年作曲賞日本代表に選出(2018)等、作曲家として活動する中「ドローイング サウンドパフォーマンス」/「描線の音楽」を提唱。バスタラムにユポ紙を貼った「ユポドラム」に(株)呉竹の提供する絵画を用いて、音楽の解体と再構築 / 作為と不作為の狭間をテーマに活動を展開。愛知県芸術劇場主催「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019」公募アーティスト。2021年12月「人工知能美学芸術展」(長野県)参加。

### 「音+音」 (滝 千春、中野翔太) *'Sound + Sound'(Chiharu Taki / Shota Nakano)*

滝 千春: メニューイン国際コンクール1位など国際コンクール多数入賞。国内外でリサイタルの他、オーケストラや音楽祭への招待で活躍。ベルリン・フィルハーモニーにて新ベルリン交響楽団と共演。2019年1月にはミュンヘン放

送管弦楽団のコンサートミストレスに短期就任。  
**中野翔太**: 江戸弘子に師事。ジュリアード音楽院卒業。シャルル・デュトワ、小澤征爾、ウラディーミル・アシュケナージなど国内外の名匠と共演。豊かな表現力と透明感のある響きで定評があり、リサイタル、室内楽の他、近年は作曲、編曲、ジャズ演奏など音楽活動の幅を広げる。第15回出光音楽賞受賞。

### PAO-C (中川 丘 / 野呂有我) *PAO-C(Takashi Nakagawa / Yuga Noro)*

2011年9月結成された祭祀ユニット。これまで、「新春人生初詣展」、「まつりだよ!くらぶばおばおまつりくらぶまつり」など、テクノロジーと音を用いた活動をしている。

### 西原 尚 *Nao Nishihara*

音を主軸に、美術活動とパフォーマンスを行なう。音を鳴らすために必要な物や物へと関心事や制作動機が展開。活動領域も美術や音楽を横断している。1976生、横浜在住。

### ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー

#### 小森邦彦 (マリンバ) *Kunihiko Komori*

マリンバソリスト。マリンバのための独奏、室内楽、協奏曲分野でソリストとして欧州、アジア、北米で活躍。細川俊夫、権代敦彦、アレハンドロ・ヴィニャオ、ジェームス・ウッドなど世界の作曲家達によるマリンバ音楽の更新に努め

ている。教育者として米カーティス音楽院、独カールスルーエ音楽大学、ボルトガル・アヴェイロ大学、中国中央音楽院などに招かれレクチャーを行い、現在は愛知県立芸術大学にて後進の指導にあたっている。

#### 橋本岳人 (フルート) *Taketo Hashimoto*

日本音楽コンクール他で入賞入選。文化庁芸術家研修員としてパリに留学。ソリストとして多くのオーケストラと共演。名古屋フィル首席奏者を経て愛知県立芸術大学准教授。名古屋音楽大学講師。

#### ブルックス 信雄 トーン (クラリネット) *Brooks Nobuo Thon*

Brooks 信雄 Thon は現在、愛知県立芸術大学にて准教授を、相愛大学にて非常勤講師を務める。准教授就任前は大阪フィルハーモニー交響楽団にて首席クラリネット奏者を務めた。多様なキャリアを通して、ソリスト、室内楽、教育者としてアメリカ、ヨーロッパ、アジアでの指導などに加え、日本の数々のオーケストラで客員首席を務めている。

#### 岡本麻子 (ピアノ) *Mako Okamoto*

独・フライブルグ州立音大、ケルン国立音大演奏家コースを修了。ロン・ティボー国際コンクール、メジアン現代音楽国際コンクール等で入賞。現在、大阪教育大学芸術表現専攻准教授。

#### N Percussion Group

岩間美奈、小林美里、森次侑音、渡邊伴大による鍵盤打楽器を駆使する打楽器四重奏団。各々がソリストとして活躍しA.ヴィニャオ、J.トルヴァーテイング等によるレパートリーを持ち打楽器音楽の更新を続ける。

## チケット

### 7/2(土) 紅葉坂プロジェクト Vol.1

全席自由(税込) ●一般…2,500円 ●シルバー(65歳以上)…2,000円 ●U24(24歳以下)…1,250円 ●高校生以下…無料 ★車椅子席有(付添1名無料)

### 7/10(日) ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー

全席指定(税込) ●¥3,500 ●シルバー(65歳以上)…¥3,000 ●U24(24歳以下)…¥1,750 ●高校生以下…無料 ★車椅子席有(付添1名無料)

### 4月24日(日) 一般発売

●チケットかながわ Tel.0570-015-415 (10:00~18:00)

●神奈川県立音楽堂 窓口 (13:00~17:00・月休)

●神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場 窓口 (10:00~18:00)

●チケットぴあ <https://t.pia.jp>

(Pコード 紅葉坂プロジェクト Vol.1: 216-485 / ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー: 216-487)

●イープラス <https://eplus.jp>

●ローソンチケット <https://l-tike.com>

(Lコード 紅葉坂プロジェクト Vol.1: 33831 / ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー: 33874)

※シルバー(65歳以上)・U24(24歳以下)・高校生以下・車椅子席は枚数限定。チケットかながわのみで取り扱い。

※高校生以下チケットを含め、引取り方法によっては発券手数料等がかかります。

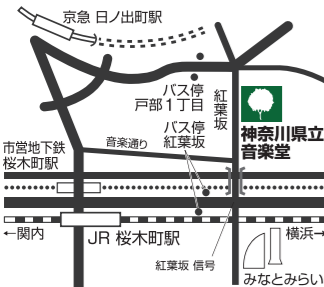
※未就学児入場不可。託児サービスあり 公演1週間前までに要予約・有料(マザーズ: Tel.0120-788-222)

※やむを得ぬ事情により公演中止、内容変更等の可能性があります。予めご了承ください。最新情報は公式サイトをご覧ください。

## 木のホール

# 神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall



〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2  
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

■JR・横浜市営地下鉄桜木町駅から徒歩10分

■京浜急行日ノ出町駅から徒歩13分

■みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩20分

開場・開演に合わせてJR桜木町駅から無料バスを運行します

7/2(土)・10(日) 出発時間 ①13:55 ②14:10 ③14:25 ④14:40

●運賃無料・予約不要・当日先着順(①②のバスは7/10は開場前に到着します。)

●発車場所は桜木町駅バスターミナル「タクシード降車場」奥の「貸切観光バス乗り場」。

乗車口横に「神奈川県立音楽堂」の掲示がある横浜市営バスの貸切運行。

●終演後の帰路運行はありません。

●主催: 神奈川県立音楽堂

●助成: 文化庁文化芸術振興費補助金  
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



## シリーズ

# 「新しい視点」

## 紅葉坂プロジェクト Vol.1

2022年7月2日(土) 15:00(14:00開場)

*Momijizaka Project Vol.1 Sat, 2, Jul, 2022*

クラシック音楽の常識  
音楽の概念をも転回する  
未来志向のアイデアと  
パフォーマンス!

## ダブルポートレート・フォー・マリンバ・アンド・ザ・フューチャー

2022年7月10日(日) 15:00(14:30開場)

*Double Portrait for Marimba and the Future Sun, 10, Jul, 2022*

アレハンドロ・ヴィニャオと一柳慧、マリンバ音楽の可能性を切り拓いてきた東西の巨匠作曲家2人をゲストにおくる、刺激的なコンサート!

# Series New Perspective

音楽と私たちの新しい出会い、これから広がる可能性、今まで知らなかったレパートリーの深い魅力にフォーカスして、2022年から音楽堂が放つ新シリーズ「新しい視点」! 毎年行う公募プログラム<紅葉坂プロジェクト>と音楽堂ならではのプロデュース企画の2本でお届けします!

## 木のホール

# 神奈川県立音楽堂



# Momijizaka Project Vol.1

## 紅葉坂プロジェクト Vol.1

クラシック音楽の常識、音楽の概念そのものをも転回する新鮮なアイデアを選ぶ新公募プログラム！  
一柳慧、沼野雄司、鈴木優人の三名の委員によって記念すべき第1回に選ばれた5本のキラリと光るプロジェクトと、  
聴衆の皆様の出会いの場です！

7月2日(土) 15:00(14:00開場)

### #1 呼応する弦楽器と電子音響

かさね(河村絢音 / 佐原 洸)  
*Strings and Electroacoustic Sound that Respond*  
*kasane(Ayane Kawamura / Ko Sahara)*

洗練、激烈、重厚、繊細…弦楽器と  
エレクトロニクスという組み合わせは  
実に幅広く、興行のある可能性を  
持っています。弦楽器の新たな可能性を  
提案することを目的として2022年に始動した  
kasaneがこの豊富な領域に挑みます。



河村絢音

佐原 洸

- ルイス・ナオン: カプリッチョ I, II (2007) *Luis Naon: Capriccios I, II*
  - ヴィンコ・グロボカル: カルトムラン・クワロゼ (2001) *Vinko Globokar: Kartomlin croisé*
  - 佐原 洸: 委嘱新作 (2022) *Ko Sahara: Premiere*
  - フィリップ・マヌリ: パルティータ II (2012/日本初演) *Philippe Manoury: Partita II (Japan Premiere)*
- ※エレクトロニクスの体験コーナーを2階ロビーに設置します。開場・休憩中および終演の際にぜひご体験ください。

### #3 “響き”を通して知る音楽の根源 そして新たな“響き”の探求

「音+音」(滝 千春、中野翔太)

*The Roots of Music through "Hibiki" and The Quest for New "Hibiki"*  
*"Sound + Sound"(Chiharu Taki / Shota Nakano)*

私たちのキーワードは“響き”そして“空間”です。  
空間によって生み出される響きは、音楽そのもの  
の発展に大きな影響を与えてきました。  
そうした響きと空間の相互作用を突き詰め  
新たな可能性を探り、過去そして未来に繋がる  
音楽の形を、私達が描く物語として  
是非楽しんで下さい。



滝 千春

中野翔太  
©Taira Tairadate

- グレゴリオ聖歌 *Gregorian Chant*
- G. ガブリエーリ: ピアノとフォルテのソナタ (梅本佑利編曲)  
*G. Gabrieli: Sonata for Piano and Forte (arr. by Yuri Umemoto)*
- W.A. モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ 18番 KV.301 ト長調 第1楽章  
*W.A. Mozart: Violin Sonata No.18 KV.301 G-major, 1st movement*
- 山根明季子: 新曲 *Akiko Yamane: World premiere*
- 梅本佑利: 新曲 *Yuri Umemoto: World premiere*
- C. ドビュッシー: 「ベルガマスク組曲」より「月の光」(ローズ・ピアノ)  
*C. Debussy: Suite bergamasque "Clair de lune" (Rhodes Piano)*

#### 参加者募集

詳細・申込は  
「紅葉坂プロジェクト」  
公式サイトにて



#### ■ ユポドラム演奏してみませんか? 「描線の体験会」参加者募集!

「ドローイングサウンドパフォーマンス/描線の音楽」演奏者として、ぜひ一度ユポドラムを触ってみませんか?開演前から演奏までもしくは終演後の時間に、音楽堂のホワイエで手に触れた道具から  
湧かれる音や線を観察してみてください。その様子は映像収録され、後日作品として別会場で開催されます。(要事前予約。公演チケット購入者限定。先着順。定員に達し次第締め切ります。)

#### ■ 「桜木町で『In C』を演奏しましょう!」パフォーマー募集!

パフォーマーとして参加してくださる方を約25名募集します。楽器や音楽の経験は問いません。事前に5回行われる練習に2回以上参加して頂くことが条件です。7月2日の夕方に音楽堂  
ホワイエから街なかに向けて出発するパフォーマンスにご参加いただけます。(要事前予約。公演チケット購入者に限定しません。5月31日締め切り。抽選にて参加者決定。)

#### ■ 「音+音」の演奏を拡張現実とともに体験してみませんか?

人数限定で、VRゴーグルを装着して「音+音」の演奏を拡張現実とともに体験していただくお客様を募集します。スマートフォンをお持ちの方限定。(要事前予約。先着順。公演チケット購  
入者限定。定員に達し次第締め切ります。)

### #2 ドローイング サウンド パフォーマンス / 描線の音楽

ささきしおり

*"Drawing Sound Performance" Shiori Sasaki*

「描く行為は演奏行為である」とのコンセプトに基づき、  
ユポドラム上で描線と描画音を同時に体験する。  
描画結果の鑑賞もまた音楽体験であることから、  
本公演ではステージパフォーマンスの他、  
ホワイエで結果物の展示を行う。  
また、公演前後にユポドラム体験会を実施する。

- 描線をさく 32"-4 *Drawing Sound 32"-4*
- ※ホワイエにて「ユボスキン」の展示 / ユポドラム体験コーナー
- パフォーマンス: 今村俊博 小栗舞花 西木史未 / 音響: 磯部英彬



ささきしおり

#### 審査会にて次点獲得も話題となったプラスアルファ2企画!

##### +1

あの水は何処に落ち、何処から湧くか

PAO-C (中川 丘 / 野呂有我)

*"Where Does the Water Fall, and Spring from?"*  
*PAO-C (Takashi Nakagawa / Yuga Noro)*

日本庭園から発想を得た「見立ての空間」の中で、  
自走する機械が、水音、距離のスキャン、演算を用いて  
音楽を作りだす。音楽堂の建築空間の中で、  
鑑賞者の内部に、音によるバーチャルな視点を生み出したい。

※ホワイエにて常設展示のほか、#2と#3の間の休憩時間にパフォーマンスあり



##### +2

桜木町で『In C』を演奏しましょう!

西原 尚 *"Let's Perform "In C" in Sakuragicho!" Nao Nishihara*

テリー・ライリーの『In C』は音楽の敷居を下げ、  
より広い可能性を生み出す楽曲です。今回のプロジェクトでは、  
さらに可能性を広げます。楽器を演奏するのではなく、  
スピーカーを持った演奏者が音楽堂の周辺や桜木町の街に  
展開し、大きな大きなハ長調の空間を作ります。

音頭取り: 西原 尚 / 演奏: 公募により決定 / 技術協力: 中川琉那



©シモン・ホルン・ベルグ

# Double Portrait for Marimba and the Future

## ダブルポートレート・フォー・マリンバ・ アンド・ザ・フューチャー

独特のグルーヴ感あふれる、マリンバを中心とした幅広い創作、ライブ・エレクトロニクスと声楽、器楽などのコラボレーションで  
70歳を迎えた現在にいたるまで世界の第一線で音楽に新しい世界観をもたらし、「リズムの魔術師」の異名を呼ぶ作曲家、  
アレハンドロ・ヴィニャオが来日します。

そしてやはり生涯をかけ、マリンバやパーカッションの曲に精力を注ぎ来春90歳を迎える、日本を代表する作曲家、一柳 慧。  
東西の巨匠作曲家2人をゲストに迎え、世界的に活躍するマリンピスト、小森邦彦ら、日本のスペシャリストたちが集結。  
一柳とヴィニャオのトーク、そしてヴィニャオならではのライブ・エレクトロニクス、室内楽と多彩なプログラムで、  
世界初演曲などをお聴きください!

7月10日(日) 15:00(14:30開場)

### 一柳 慧 Toshi Ichihyanagi

共存の宇宙 マリンバとピアノのための (1992)  
*Comic Coexistence for marimba and piano (1992)*

アクアスケープ 独奏マリンバ、フルート、ピアノ、2人の打楽器奏者のための (1992)  
*Aquascape for solo marimba, flute, piano and 2 percussion (1992)*

風の軌跡 3人の打楽器奏者のための (1984)  
*Wind Trace for three percussionists (1984)*

### アレハンドロ・ヴィニャオ Alejandro Viñao

「リフ」～マリンバとピアノのための～ (2006)  
*"RIFF" for marimba and piano (2006)*

「ファイナル デ フレーズ」～フルートとクラリネットと打楽器と  
エレクトロニクスのための (2020/世界初演)

*"Final de Frase" for flute, clarinet, percussion, and electronics (2020) <World Premiere>*

“ストレス アンド フロー”より  
「ブライト アンド ダーク」打楽器カルテットとエレクトロニクスのための (2018)

*"Bright and Dark" from "Stress and Flow" for percussion quartet and electronics (2018)*

(曲順不同)

【出演】

アレハンドロ・ヴィニャオ (作曲・トーク・エレクトロニクス) / 一柳 慧 (作曲・トーク)

小森邦彦 (mrb)、橋本岳人 (fl)、ブルックス 信雄 (cl)、岡本麻子 (pf)

N Percussion Group



アレハンドロ・ヴィニャオ



一柳 慧  
©Koh Okabe



小森邦彦



橋本岳人



ブルックス 信雄 トーン



岡本麻子



N Percussion Group

- 協賛: パール楽器製造株式会社、野中貿易株式会社 ●助成: 大和日英基金
- 後援: プリティッシュ・カウンシル、アルゼンチン共和国大使館
- 招聘: 有限会社小森企画 ●制作協力: ステック ヴォックス クラヴィエ

アレハンドロ・ヴィニャオ *Alejandro Viñao*  
(作曲家・エレクトロニクス)

1951年9月4日アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。94年よりアルゼンチンでロシア出身の作曲家ジェイコブ・フィッシャーに師事した後、75年にロンドン王立音楽院に学び、ロンドン大学シティ校で博士号を取得。これまでアルス・エレクトロニカにて金賞受賞、ユネスコ世界音楽賞インターナショナル・ロストラム・オブ・コンポーザーズ第一位、グッゲンハイム・フェローシップなど多くの受賞歴がある。その音楽はタングルウッド音楽祭、ロンドンプロムスなどの世界的な音楽祭や放送で多く取り上げられている。またこれまで欧州、北米、日本などでポートレートコンサートが開かれ、作品は欧米の大学のカリキュラムで研究対象として頻繁に取り上げられている。仏IRCAM、米MIT、英BBC交響楽団、ラジオフランス等を含む世界の多くの組織やグループから作品の委嘱を受けている。オペラ、ミュージックシアター、合唱、管弦楽、エレクトロアコースティック作品を含む広範囲に渡って音楽創作を行っており、また英BBCのために20以上の映像作品にマルチメディア音楽を書き続けている。

一柳 慧 *Toshi Ichihyanagi*  
(作曲家・ピアニスト)

1933年、神戸生まれ。52年に19歳で渡米、ジョン・ケージとの知己を得、偶然性や図形楽譜による音楽活動を展開。61年に帰国、自作品並びに欧米の新しい作品の演奏と紹介で様々な分野に強い刺激を与えるとともに、国内外で精力的に作品発表と演奏活動を行っている。尾高賞を5回、サントリー音楽賞、ジョン・ケージ賞、恩賜賞及び日本芸術院賞ほか受賞多数。2008年より文化功労者。18年文化勲章受章。00年より神奈川芸術文化財団芸術総監督。